

# SUNNYSIDE 2024-2026

社会福祉法人 友朋会

## 2024－2026 中・長期事業計画

2024年度から2026年度の3年間について、新たに第3期中・長期計画を策定しました。この期間のビジョンとして以下の3つを挙げています。

### I 地域共生社会の実現

社会福祉法人として、前期に引き続き地域ニーズに主体的に取り組み、地域に必要な事業を継続して行います。また、地域・社会との対話や多業種・多職種との連携を深め、多様な社会課題の解決に取り組んでいきます。

法人で取り組んでいるアール・ブリュット活動は、メディアに取り上げられることもあり、障がいのある人もない人も、身近に地域共生社会を体感できる事業にもなっています。この活動は熊本県SDGsにも登録しており、利用者、家族、地域、関係機関等とのパートナーシップを深め、地域福祉の充実を図るため今後も重点項目として取り組んでいきます。

- ◆地域における公益的な取り組みの実施
- ◆アール・ブリュット活動の推進
- ◆特別支援学校、病院、他事業所等の多業種・多職種との連携強化
- ◆地域福祉に貢献する人材の育成
- ◆発信力の強化
- ◆SDGs 活動の推進
- ◆新しい事業領域の検討

### II 魅力あるサービスの追究

障がい福祉の分野では重度化・高齢化、障害者虐待防止など様々な課題へ取り組んでいます。私たちは、これらの課題にしっかりと対応しつつ利用者・家族から「選ばれる施設」になるための魅力あるサービスづくりに取り組んでいきます。

魅力づくりのベースとして「細やかなことに気を配り、利用者ひとりひとりを大事にするホスピタリティ精神の育成」を掲げ、職員全体のホスピタリティの向上に努めます。

また、課題解決力の向上や専門スキルの習得、食事や入浴などの日常生活支援の見直しを進め、利用者自身の意思決定を尊重したサービスの提供とその魅力の向上に努めていきます。

- ◆利用者に寄り添った丁寧な支援の展開
- ◆魅力あるサービスづくりの検討
- ◆権利擁護と意思決定支援への取り組みの強化
- ◆利用者自身の意思決定の尊重
- ◆ライフステージの支援
- ◆専門スキルの向上
- ◆内部資格制度の設立
- ◆福祉サービス第三者評価の受審

### Ⅲ 働きやすい職場づくり

人材確保は非常に厳しい状態が続いており、この状況は今後も継続すると予測されます。このため法人としても、ICT化・DX化を進め、職員の業務負担の軽減を図り、いきいきと働ける職場づくりと多様な働き方の検討に取り組めます。

また、キャリアパスや人事考課制度、評価制度を見直し、より納得性の高い制度への変更を検討します。これに加え、人材の確保、定着、育成の仕組みの見直しもあわせて行い、職員定着に向けた仕組みやマネジメントのあり方を整備し、3年間の職員定着率83%（2024年～2026年）達成を目指します。

- ◆キャリアパス制度の見直し
- ◆人事考課制度・評価制度の見直しの検討
- ◆処遇向上・多様な働き方の検討
- ◆ICT・DX化の推進
- ◆マネジメント技術の向上（リテンションマネジメント）
- ◆職員間コミュニケーションの充実
- ◆職員の資格取得、自己啓発、自発的な学びの支援

# 2025年度事業計画

## 1. 経営理念と運営方針

### ＜経営理念＞

健やかでその人らしい生活の創造

### ＜運営方針＞

- ①コンプライアンス（法令遵守）の徹底
- ②人権の尊重
- ③家族・社会との連携
- ④地域移行の推進

## 2. 基本方針と重点項目

### ＜基本方針＞

2024年度事業計画では、中長期事業計画・方針をもとに全事業で34の目標について取り組んできました。ほとんどの目標については達成できた一方で、積み残した課題も数点見られています。

その一つが「働きやすい職場作り」における人材に関する課題です。人材の採用・定着・育成のサイクル、それを統制するマネジメント力の強化など一朝一夕で解決できることではありませんが、まだまだ不足している部分であると感じます。

また、支援の専門性の維持・向上も課題となっています。これは、私たちが提供するサービスの核となる部分です。一方で、専門性とは何かを見つめなおした際に、福祉のスキルはもちろんのこと、それを運用する社会人としての社会性も非常に重要だと感じるようになりました。

今年度は、これらの課題の改善を目指すとともに、利用者も家族も職員もサニーサイドに愛着を持ってもらえる組織作りを、長期的な視点でも取り組んでいきます。

## <重点項目>

### ●人材への投資

- ◆サニーサイドでは、人材への投資の一つとして2024年度は平均9.6%の基本給の改定を行いました。しかし、定着・採用率ともに大きな影響を与えることができていません。これは、求職者が賃金のみではなく、その他の福利厚生関係も大きな指標としてとらえているためと考えられます。

今年度は、賃金、福利厚生、キャリアアップやスキルアップ、職場環境の整備等の多角的な人材への投資を積極的に行い、選ばれる組織作りに努めます。

### ●魅力あるサービスづくり

- ◆昨年実施した特別支援学校を始めとした関係機関との連携強化により、利用者の確保と利用率の向上については改善が見られ始めました。今年度も、連携強化を継続して取り組んでいく予定です。しかし、サニーサイドの魅力あるサービスづくり、活発なコミュニケーションに基づいた風通しの良い職場づくり、ホスピタリティの向上などの点はまだまだ課題となる部分も見受けられます。

2025年度は、現場職員の声を取り入れ、新たな取り組みに努めます。

- ◆魅力あるサービスづくりの土台となるのは、専門性の高い支援を継続していくことと、社会で活躍できる教養とスキルを持った職員の育成をすることが重要と感じています。近年の職員離職により、専門性の維持・向上、社会性の育成は課題となっています。そのため、福祉、法律、労務等の専門家による研修等を実施し成長と自覚を促します。

### ●ICT・DX化による生産性の向上・効率化

- ◆ここ数年人材採用は、当法人含めどの法人も苦戦しているところです。今後も人材獲得については、大幅な改善がみられる見込みもありません。

そのため、少ない人数でも効率的に支援を展開するためのICT・DX化による生産性の向上と効率化は常に模索し続ける必要があります。少しでも業務負担を軽減するために、先進的な事例を積極的に取り入れ効率化を図ります。

### 3. 法人

事業目標「アート活動の推進と働き方改革による法人価値の向上」

#### a.アート活動を通じた障害福祉の理解と社会参加

##### ●展示会・公募展への出品による付加価値の向上

障がい者への理解を深め、自立と社会参加を推進するために、「サニーサイドの画家たち展」等の展示会の開催及び展覧会への出品・出展を行い、アート活動全体の価値の向上を図ります。

##### ①展示会等への出展

イ サニーサイドの画家たち展

(7月・11月 場所：ギャラリーミモザ)

ロ サニーサイドの画家たち展 vol.5

(4月22日～5月11日 長崎書店ギャラリー)

ハ アール・ブリュット展 vol.11 の出品

(12月 熊本県立美術館)

ニ BiG-i×Bunkamura 公募展への出展

(年7月)

##### ●“想いのままの表現”の魅力を拡げる

障がい福祉とアートの融合による楽しさや魅力を発信するために、定期的な広報誌の発行、SNS を活用した作品や活動状況の発信を行い、地域共生社会の実現に向けて取り組み進めます。

①リーフレット“ミモザ”の発行(年2回)

②インスタグラムでの活動状況や展示会情報の発信(月2回)

##### ●アール・ブリュット推進事業のあり方の検討

利用者制作物の多様な活用のために、著作権及び所有権への対応を行い、新たな価値の創出と利用者と事業所がより協同して制作に取り組めるように環境整備を図ります。

①制作物の利用、所蔵に関する契約検討

②絵画販売（データ利用含め）の取り扱いに関する基準の設定

## **b.働きやすさの創出**

### **●人材確保に向けた処遇向上**

近年の社会情勢や多様な働き方にあわせた処遇向上のために、業界全体の調査・分析や専門家との検討により、就業規則の見直しや各種手当の見直しについて検討します。加えて、新たな人材確保のマーケティング範囲を広げるために求人広報活動の強化、外国人材や高卒人材の採用に向けた情報の収集を行い、人材の確保に繋がります。

①情報誌への求人の定期的な掲載・地域への新聞広告の実施

②紹介会社及び派遣会社の増加（6件）

【新規】③外国人材の採用及び高卒採用に向けた情報収集

【新規】④Instagramでの求人情報の定期発信（月2回）

### **●働きやすさによる人材の定着**

職員が心身ともに健康で安心して就業できる環境整備、職員階層に合わせた業務のあり方の見直しやICT・DXの導入による作業の効率化を図り、2025年度職員定着率92%を目指します。

①職員階層に合わせた業務のあり方の見直し

【新規】②カスタマーハラスメント規程の策定

③ICT・DXの導入による作業効率・生産性の向上

【新規】④定期面談の強化（年6回）

### **●多様な研修を活用した人材育成**

専門家による研修等の実施により、社会性の向上に努めます。また、いつでも知識を深めサービスの質を高めることができるよう障がい者支援施設専門のオンデマンド研修の導入を行います。

【新規】①専門家による研修の実施

②オンデマンド、オンラインを活用した研修の実施

③職員研修体系の見直し

### c.地域・家族・社会との連携による開かれた事業運営

#### ●サニーサイド秋まつりの開催

法人と地域・家族等の関係者との繋がりを深め、障がい福祉の理解、事業運営の理解を図るために、「サニーサイド秋まつり」を開催します。

に係るイベント企画の実行委員会の立ち上げや展示企画の立案、地域及び施設関係者への広報に取り組んでいきます。

- ①ステージイベント企画の実行委員会の立ち上げ
- ②地域及び関係機関への広報と連携
- ③参加マルシェの選考及び依頼、運営

#### ●地域連携推進会議の開催

地域・社会に根差した事業運営を高めるため、地域の関係者や利用者、家族、福祉専門職と連携し、運営状況やサービス提供内容、権利擁護の取組などについての情報共有を図る「地域連携推進会議」を開催します。

【新規】①地域連携推進会議の開催

## 4. 障がい者支援施設サニーサイド

事業目標 「質の高い支援の提供と適切な意思決定支援の実施」

### a. サービスの質の向上

#### ●個人に応じた日中活動サービスの提供

利用者の得意なことを活かした活動提供のために、利用者アセスメントを行い、個人に応じた活動を提供することで、より丁寧な利用者の意思を尊重した日中活動支援の提供に繋がります。

- 【新規】①アセスメント表の作成とモニタリングの実施  
②活動検討会の開催とメニューの見直し

#### ●アート活動の推進

アート活動に興味のある利用者のグループを作り、絵画制作や創作活動を少人数で集中して取り組む時間を設けることで、より良い作品制作に繋がります。

- ①絵画活動の実施（月2回）
- ②アート活動に関する題材、予算計画の作成



### ●余暇支援の充実

余暇支援活動の充実のため、活動メニューや外出支援グループを見直します。年齢や体力に応じた余暇支援活動の提供、移動販売利用した買い物支援などを提供することで、社会とのつながりに繋がります。

- ①外出支援グループの見直し
- ②移動販売の実施（4月・12月）
- ③イベント企画（8月、1月実施）

## **b. 意思決定支援の強化**

### ●意思決定支援に関するガイドラインの整備

利用者の意思を尊重した支援を行うために、意思決定支援に関するガイドラインの作成、マニュアルに応じて、利用者のニーズを汲み取り、支援に反映できるシステム作りを行います。

- 【新規】①意思決定支援に関するガイドライン及びマニュアルの作成（6月）
- 【新規】②意思決定支援会議の開催（8月、2月）
- 【新規】③ライフステージ評価及び検討会の実施と提案（5月、6月）
- ④家族との連携、説明会の実施（3月）

## **c. 専門性の向上**

### ●支援力の向上

利用者に応じた支援を提供するため、外部の専門的なアドバイザーを招いた専門支援研修を行います。また、個人支援の情報共有を行い、障がい特性や個人に応じた支援の知識の向上、支援力の強化につなげます。

- ①専門支援研修の実施（年3回）
- ②ケース検討報告会の実施（毎月）
- ③個人支援の共有、マニュアルの一元化

### ●初期対応、医療支援に関する知識の向上

感染症や怪我等、様々な利用者の心身状況に早急に対応するために応急処置や緊急時の対応、通院支援など、医療に関する支援についての研修を行い、初動対応ができる職員の育成に努めます。

- ①感染症等に関する研修・訓練の実施（各年2回）
- ②家族への健康状態の情報提供及び医療機関受診の連携（年2回）

### ●安全で楽しみのある食事提供

利用者の生活の質の向上のため、地域の食材や旬の素材を活用した食事の提供、行事

食、イベント食を提供します。また、年齢、疾病、障がい特性、食事形態の違いに関わらず、安全で楽しみや満足感のある食事提供に努めます。

【新規】①食事形態に関するガイドライン作成

## 5. サニーサイドワークセンター

事業目標 「働くことと社会生活支援の推進」

### a. 工賃向上に向けた取り組み

#### ● 目標工賃

目標工賃を達成するため、アート事業の強化や製品パッケージの見直しを行い、目標平均工賃月額16,300円（前年比105%）を目指します。

- ① レンタルアート新規契約（10点）
- ② 絵画作品を活用した商品・グッズの制作（6種）
- ③ ハーブ製品パッケージの見直し（10月）

#### ● 作業環境の見直し

生産性向上のため、作業環境の見直しや補助具等を活用した作業マニュアルの作成を行い作業の効率化を目指します。

- ① 作業環境の見直し（年2回）
- ② 補助具等の活用による生産性の向上支援

### b. 魅力的な作品づくりへの取り組み

#### ● アートに触れる機会の提供

創作意欲向上のため、アート展や美術館を訪れる機会を提供し、アート活動の質の向上につなげます。

- ① アート展や美術館の見学（年2回）
- ② 屋外の絵画活動の実施（年2回）

#### ● 新しい画材、題材の提供

新しい作品や作風を生み出すため、デジタルアートなど新しい画材や題材を取り入れ創造的な作品づくりにつなげます。

- ① 新しい画材や題材の提供（年4回）

### ● 絵画教室の開催

新たな作家の発掘や、興味関心を持った利用者の活動機会の創出のため、定期的に絵画教室を開催し、制作風景などを SNS 等で情報発信を行い、アール・ブリュットの広報・啓発を推進します。

①絵画教室の開催（夏季休暇期間全 10 回開催）

【新規】②SNS 等で制作風景や作品の発信

## c. 社会性の向上に向けた取り組み

### ● 社会スキル訓練の実施

社会参加や人間関係の構築を促進するため、コミュニケーションスキルの向上や職場でのルール及びマナーを身に着ける取り組みを行います。

①ソーシャルスキルトレーニング（SST）の実施

②職場でのルール・マナー支援の実施

### ● 家族との連携

また、ご家族との連携を深め一貫した支援体制づくりのため、交流やコミュニケーションの機会をつくります。

【新規】①家族と交流会の実施（年 2 回）

## 6. 共同生活援助事業所サニーサイド

事業目標 「健康的で楽しみを持って過ごす」

### a. 自立に向けた生活のサポート

#### ● 社会生活支援の充実

意思決定支援を推進するため、地域資源や地域サービスを活用し、外出等の社会生活支援の機会の提供を行います。

①地域資源（図書館やイルミネーション等）を活用した外出の実施（年 2 回）

②一日旅行の実施（10 月）

#### ● つながりの強化

地域生活支援推進のため、特別支援学校や児童福祉施設の利用者の体験利用の受け入れを行うとともに、年に 1 回ご家族向けの説明会を実施し、グループホームの利用拡大とつながりの強化を行います。

①支援学校等の実習生受け入れ

## ②GH 説明会の実施（8 月）

### ●地域との交流

地域福祉を推進するため、地域の方とのイベントを開催し地域交流を深めます。

#### ①グランドゴルフ大会の開催（5 月）

## **b. 健康維持・増進**

### ●継続的な運動の実施

楽しみながら健康に生活を送るために、日常のウォーキングに加え、地域のスポーツイベントへの参加や運動レクリエーションに取り組み、身体機能の維持や増進に繋がります。

【新規】①公共施設を利用した施設外でのウォーキングの実施（年 5 回）

#### ②地域スポーツイベントへの参加

- ・親善スポーツ大会への参加（10 月）
- ・七城コスモスウォークへの参加（10 月）

## 7. 相談支援事業所サニーサイド

事業目標 「サービスの連携力の向上」

### **a.相談支援体制の整備**

#### ●連携力向上への取り組み

効率的なサービス等利用計画作成及び会議の運営のため、他サービスとの合同会議を併合し、開催回数減を進め効率化と連携力向上を図ります。

#### ●地域ニーズへの対応

地域の課題、地域のニーズを知るため、利用者面談や関係機関から得られた情報をもとに「地域ニーズの報告書」を作成し、今求められるニーズやサービスについて検討する機会をつくれます。